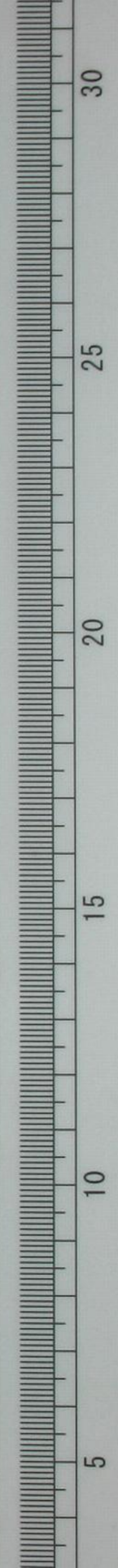


未昏下卷五

1 13  
915  
5





二十三本同用陽軍鎧末書下九本之五



○在備立備手組手分或甚様子三ヶ条

一 近習百二十騎乃内古駿宛一分て六番  
此類尻付一番類武友三河も二番此類  
大尾伊新九郎三番類尾振と水四番類  
小佐平氏初等五番類元友長門も六番類  
逸見左邊以上

二 奥近習世人此尻初等八人宛一分て  
是と五人宛一分て  
是と六番も一分て類云も一番も六人宛共類



一秋山源苑二小山田三次郎三書根五一助四  
三枝吉八郎五今九助六六小山田九之助七  
三足輕大持廿一頭手分子組代理

一横田十之丞忠同左九郎是八山縣之系  
沛陳乃討討組。被指副吏

一系与集の一市川梅中是支人信初長原の  
在城して同牧遊れ城主馬場茂濃守。組  
合せ更濃沛陳乃忠信P留る。討。右梅中  
系乃支人八山河の。越後城。出目付。乃也

一犬徳備前山縣組今八遠列小山。在城也

一長坂釣宗子前廿騎子少騎合四十騎。

一沛旗本前備

一廿騎下書根乞。沛旗本前備

一小幡沛屋の甥。八系沛旗本。被系山。其  
師と被討付。被彈正。如海津。一面檢。在城也

一上系道前軒上列。亦。在城。して小幡面  
与。五五百。被。下知。武。上列侍。元。沛陳  
乃。信。仕。留。者。坊。五。侍。元。下知。仕。役。也。殘。八



御旗本よ

- 一 常根内通
- 一 武藤在左
- 一 三枝此三人也
- 出方迎く御前仕へ故備押此時也陳取
- 時也迎押邊陳取也陳替此度逆廻陳取
- 一 城守者
- 一 田原宗房
- 一 小幡又兼
- 一 遠山石馬助
- 一 今井九兼
- 一 江間石馬先
- 一 園基五兼
- 一 安間三兼
- 一 常根又兼
- 一 三枝新九郎
- 討死乃故兄乃水着兼  
是と被付也
- 又六郎石倉九郎  
と故改易

○出陳の對御使元

- 一 飯沼越中
- 一 九藤六兼清
- 一 藤戸九兼光
- 一 小出八兼
- 一 初康傳左
- 一 小山田祐助
- 一 香田石邊
- 一 小山田又六郎
- 一 榎田又次郎
- 一 加藤洋宗
- 一 秋山十兼兼
- 是六舎兄兼九郎過之  
死して後十兼兼副
- 一 玉出法親王
- 一 誤の指物乃元是也

○右此使元乃山々武道守内者  
よ成能智恵七ヶ条ハ

- 一 好場教味方云々不可知
- 二 教云々云々



三 三のしを移して

四 通く押来り教馬と歩者押連多

三つと見介ゆ候

五 ゆゆりさうり教我味方とゆ又實、調

儀、見介ゆ候

六 教味方共、強き弱し様子御大御

へ申上様

七 教味方共、備澄濁乃又 付 精取

使、行取共行様何者可有

口傳 心

○御旗本存備れ是是馬よ

里とらて備也

付

一 御直参元ハ御前、是之事

二 同心馬系ハ吾馬ハ是取、是在り

三 右ハ馬系乃様子如新の度

心



采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬

一右七備

雙方合  
十四備  
御馬

三  
二  
一  
先祖

御旗  
五本  
御孫  
十一本  
御花冠

二左七備

采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬
采馬

御旗  
五本  
御孫  
十一本  
御花冠

采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬

御馬取

采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬
采馬

御馬取

采馬
采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬
采馬

采馬
采馬
采馬
采馬
采馬

御旗  
五本  
御孫  
十一本  
御花冠



○人教多分子組備定卯午九ヶ条  
第一小田原より助六席及有伏夜西一人賞与  
給へ用別郡内若夜。指通ふ必又木後並  
原清水三頻行時進と可しとて右の六  
用舟へ糸小束家以障と糸糸は被付付  
とて高橋中津。組の男物仕高由故深  
上野原より西日指女宛至河是小田原  
市組氣被官氣女宛指至故深は此城  
代駒井右束と市旗本へ糸也候是此年六

小田原小束家此城用。人教多不入夏  
第二河旗本亦請家中備押被相定夏  
第三河旗本請家中陳取相定事  
第四教女入教と味方大軍と了切筋と様子能  
寄教を家より付是より付て信玄と三ヶ条は中  
合言は一人の必とてせんも是我必不  
騷分別とて共上金取の必へ討集は  
二人は勝人より是者一人は可勝ふこと候  
も只案之より分別と宛て是より重と



云々して他國へ了事三條の大お成  
さす此の御大のお成と打んらるは我家の御老  
若よ不審と懸て右大お上下若よ不審と分  
て後方へ付様よ仕立して此地へ深く働さ  
わらる御さす様よ不被成の御成事

第五陳取能九段の人数とささし早くも懸如  
定の仕立よ侍大お者頼物奉行の口扣さ  
様の御成事付陣九條の御老一軍と被  
懸て程の御さし合の者さす此代と諸人の能

胃に所申様よ此陳取の陣九と定士大お  
一頭宛へ去様よ被下さす御人の合さす也  
の御さす也無た理と心付て必成心御極御事

第六御出陳取て御の御成さす御一由御の御  
取能九段の御故他國の御信言と由在也御  
城一とあらぬ故此二自に他國の境目由也  
御ももも丈久よ由は御の御如此三由御の御  
取とつも御一二さすも被御連先くも御と御  
久此新元云介捕能九は也村星へ御親事



兄弟よき道は敵勇を祐仕る所なり事大に  
亦新氣の内を是輕氣の多角或は燭の如  
新氣其懸誓も成願と一捕之亦二捕之  
二捕ハ三四五ハ必死して分捕ハ刀刺指目貫鼻  
らくさくさとうつゝ宜く力廻成る由林乱れよつ  
ふは是とも宜成敵軍の必々民百姓迄患  
當貴一と勇安泰なれハ可畏様となし是  
連る信云云御之久能成先不淺故也右通  
久六勝頼御代ハ天正元年ハ夏中夜時七

其子秋家康氣ノ遠列森々を忠仕勇漢の  
之勝頼云云出陣とて二月より五月迄ハ間東  
必濃とて十八ヶ所遠列とて言ハ天神院四月  
百廿九日ハ十九ヶ所城攻落し給ハ六御持ハ必  
騷いた久ハ信云云微妙ハ智恵餘る程也  
久名大御中の徳名大御言ハ是れ也と有  
第七信云云由り弟三ヶ所大軍一敵五人ハ角  
様よとの敵ハ敵國ハ入ハる勝なれハ別ハ可勝  
極なり入て捕て勝てて必角也と被給ハ一勝



此の去理也。去理の負て討死と爲。後亦存て  
物もしてこの内。其れ滅法也。と云。此の教我  
の軍押入らる。程なら。小勝。多勝。可。ら。か  
弱。極。内。し。多。老。若。か。ら。て。安。中。疑。あ。り。之。極  
可。ん。極。者。第。一。小。教。を。ら。り。大。軍。を。我。城。際。へ。あ。て。知  
畧。武。略。を。し。可。討。取。成。と。心。の。味。方。と。思。く。仕。軍。怪  
家。を。こ。様。は。仕。安。因。海。國。と。な。ら。り。の。教。の。謀。坊  
弱。の。味。方。の。諸。將。の。勇。と。強。の。と。可。山。の。必。去。理  
成。動。せ。し。勝。と。負。と。な。く。唯。中。道。よ。う。義。と。可

取。と。此。定。の。意。第。二。教。多。勝。よ。う。義。弱。く。極。心  
不可。也。可。細。の。教。多。勝。よ。う。能。切。取。可。義。多。人。教  
よ。う。力。と。大。事。の。し。て。其。の。要。へ。去。理。の。趣。り。し。り  
教。弱。し。去。理。の。力。の。掛。る。大。と。如。拂。仕。味。方。よ。う。負  
死。人。多。在。て。然。と。教。必。へ。入。味。方。地。必。し。て。れ。り  
可。と。納。り。必。定。負。也。弱。教。よ。う。負。の。勝。の。よ。う。此  
奪。と。心。の。去。理。成。五。働。と。必。兼。て。中。道。と。云。り  
安。因。よ。う。海。國。と。れ。の。教。弱。の。味。方。強。の。と。兼。其。其  
必。我。多。よ。う。可。入。と。病。の。第。三。教。の。中。よ。う。可。か。り



て率中疑及て大軍を以て防戦の事我軍へ  
押入らるるらに猶も奇なる勝中道とて教内  
も由眼せんまらねとて大女別と仕る可  
勝る右の松信まはら前大一局の書也と如件  
第八此中備平。八秋山伯春も勝進子騎五十騎お備り  
万馬鐵部十騎伏光も越後も九十騎合る二百十騎  
されは錦出軍の伏の十人騎の士大お一騎被加て  
第九越後の押長沼の城（赤手集）赤川梅中兩是輕  
大お掃目よ被拍垂てより舟川はわも。越後城は元

女突人數を要し殊更收貯の城代馬場史澤被  
拍付弟流もあまの時の足輕大お女人は何事と  
我との一越後城如此東史澤場。秋山伯春も絶  
え二百五十騎雅也子餘相又越後城中。印も其後  
相名康種人數討出て是も是の事なま云新田  
足打筋上野。元若も若女突も中。小橋と絶  
舎身元也元の者。拍副侍の百騎も。是其上  
上系随前斬と申出筋本也輕大おいもの城代は  
の惣掃目なれは丈夫。女也のふも。其も元年也如件



~~中由備中~~  
七十騎

~~保好護正~~  
七十騎

~~永井建善寺~~  
六十騎

~~諸家小東~~  
四十騎

~~伊野小東~~  
四十騎

~~伊野~~  
四十騎

~~伊野~~  
四十騎

甘利百騎是也  
陳代物  
朱倉丹後西  
騎小舟法  
奉行

李在道  
百騎  
曾守三  
十騎

~~波奈備家~~  
五十騎

~~小東~~  
三十騎

~~今福~~  
三十騎

~~南宮~~  
百騎

~~南宮~~  
百騎

~~南宮~~  
百騎

~~伊野~~  
四十騎

一足輕大  
陳子存諸  
奉行使  
先小  
檢圖在

而為禮  
使奉  
行名是  
役形  
同之

番

番

番

番

番

心同願  
心同願  
心同願

~~伊野~~  
五十騎

~~伊野~~  
三十騎

~~伊野~~  
三十騎

~~伊野~~  
三十騎

~~伊野~~  
三十騎

~~伊野~~  
四十騎

~~伊野~~  
四十騎

~~伊野~~  
百二十騎

~~伊野~~  
百二十騎

~~伊野~~  
三十騎

~~伊野~~  
百騎

~~伊野~~  
二十騎

~~伊野~~  
二十騎

三十騎

三十騎

是信之類  
也信之類  
也信之類  
也信之類

十騎

二十騎

十騎

二十騎

二十騎

二十騎

二十騎

~~伊野~~  
七十騎

~~伊野~~  
七十騎

伊野二百騎  
也六百騎  
也六百騎  
也六百騎  
也六百騎

小荷駄同同同同小荷駄







是輕氣  
是腰氣  
是輕氣  
是輕氣  
是腰氣  
是輕氣  
是腰氣  
是輕氣  
是腰氣  
是輕氣

是腰氣  
是輕氣  
是腰氣  
是輕氣  
是腰氣  
是輕氣  
是腰氣  
是輕氣  
是腰氣  
是輕氣

御張本  
德奉行  
~~御張本~~

一足輕大付十人  
二足輕大付騎馬  
三足輕大付馬  
此三人公御近所  
御後三願先備之陣取也  
御張本  
德奉行  
御張本  
德奉行  
御張本  
德奉行  
御張本  
德奉行  
御張本  
德奉行

御張本  
德奉行  
御張本  
德奉行

○足輕一付二十名

御張奉行  
奉行  
御張奉行  
奉行  
御張奉行  
奉行

軍地敷大  
甚淺  
御張奉行  
奉行

御張奉行  
奉行  
御張奉行  
奉行

御張奉行  
奉行  
御張奉行  
奉行  
御張奉行  
奉行

御張奉行  
奉行

御張奉行  
奉行

御張奉行  
奉行  
御張奉行  
奉行

御張奉行  
奉行

御張奉行  
奉行

御張奉行  
奉行  
御張奉行  
奉行

御馬取



合九騎在者。  
御市備陳取此四騎  
右御陳取在者  
及官者七騎

~~右御市備陳~~  
長...

~~一 平尾長騎馬 三騎~~  
~~一 御市九張馬 武騎~~  
~~一 御市義駿馬 二騎~~  
~~一 林林林 一宮馬~~  
在外三騎是八宮  
之村死之是...  
故御市書作  
~~一 平尾長見~~ 一 御市書 一

~~陳御市備~~  
九...  
騎是...  
惣武者奉行也

~~一 平尾長騎馬 三騎~~  
~~一 御市九張騎馬 三騎~~  
~~一 御市義駿馬 二騎~~  
~~一 平尾長騎馬 三騎~~

一 在此跡先一段の備と被之時屋形は御前後  
者九騎の様子本使に故御前より先乃  
取計別は如新書也

○馬鞍二本子細の事

一 前備別後何家市二本宛指と子細の  
在備の時家市或は家市に馬の両一本  
立初又吾何么れ所一本と所は割符の  
... 如新有口傳



是神先祖神極旗也大馬頭亦大馬頭八云山十二本頭是  
 神旗奉行一騎休番爰と糸



神旗十二本内神右一本左一本

八幡大菩薩

諏訪法性上下大明神

八幡大菩薩

諏訪法性上下大明神

八幡大菩薩

諏訪法性上下大明神

神極旗十本八長旗上の中なり本旗云地白と糸と文字と書神  
 凡乃諏訪の旗三のり地白と雲と七書何成なりと小何と書白

將軍地蔵大菩薩

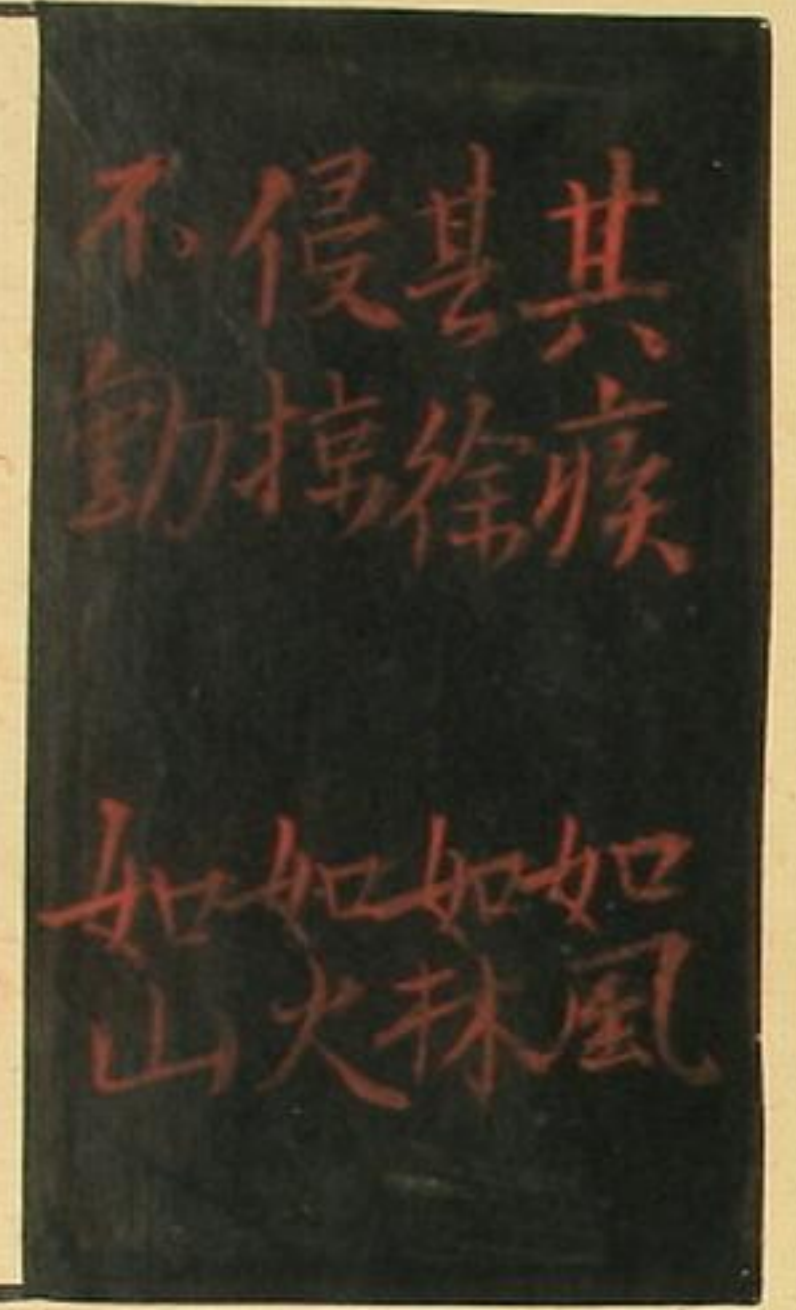
諏訪法性上下大明神

勝軍地蔵大菩薩

諏訪法性上下大明神

是八倍云云神代永録四多川申鶴合戦

より如此神馬頭二本内



神小旗部合十二本

神旗奉行一騎當番爰と糸



但天正元乙三月十八日岩村御陳の時此是  
三四方より合餉して右の古給より天上天下唯  
我独尊の書に御旗の前後其陳初  
て也付如此乃四方是六二本合十二也

○小刀の侍心懸る武士陳へ拾物七と集

一 董陸の八合者具是乃下着よと或は下  
希もよとひる付野陳よと真虫也別毒  
虫不來山事

二 藤系不持早うら肩の殺る為也

三 麻布一端馬の毛繩成は木ととらるとよ  
拾物百よ入口傳

四 朱付香薷散

五 馬の息合

六 摺火うら付胭乃火

七 氣附血止血とらると疵膏丹藥南天

此葉如件



此書物九品一冊子札在紙較  
多少分函廻不日中作之  
九本と九冊は作事一尾廻  
勘多書如也



早稲田大学図書館

011888006704